



大橋裕一 愛媛大学長

本日ここに、長尾香川大学長，脇口高知大学長，玉田愛媛県農林水産部長をはじめ，各界を代表するご来賓をお迎えし，教職員 OB，本研究科修了生などの関係者の皆様方が参列される中で，愛媛大学大学院連合農学研究科設立 30 周年記念式典を挙げてまいりますことを心より嬉しく思います。

愛媛大学大学院連合農学研究科は，愛媛大学，香川大学及び高知大学の農学部を母体に，それぞれの特色を生かしつつ，幅の広い、かつ水準の高い教育研究を行うことを目的に，昭和 60 年 4 月、全国に先駆け、東京農工大学とともに，後期 3 年の博士課程の独立研究科として創設されました。現在，全国には 6 つの連合農学研究科が設置されておりますが，この 30 年間，先発校として連合大学院を継続できたことは特筆すべきことであり，これは取りも直さず，3 つの大学の教職員が密に連携・協力していたことの証です。これまで，この事業に関わられました，構成大学の教職員の皆様方，ならびに関係者の皆様方には，そのご尽力に改めて敬意を表する次第です。

本研究科は入学定員 16 名でスタートしましたが，これまでに 925 名を修了生（課程博士）として送り出しています。そのうち、外国人留学生は 45 カ国，591 名と，修了生全体の 6 割を超えており，本研究科の大きな特色となっています。本研究科を修了後は，アジアを中心として世界に羽ばたき，それぞれの国の農学分野の研究者あるいは技術者として，また，行政や経済界の有能な人材として活躍されています。また，173 名の方が論文博士の学位を，全部で 1,098 名が博士の学位を取得されています。これらは連合農学研究科の輝かしい実績であり，学長といたしまして，大いに誇りに感じております。

さて、今、国立大学は大きな転換期を迎えています。来年 4 月からは第 3 期中期目標期間がスタートし，各大学の強みや特色を生かし，機能強化を積極的に進めていくことが求められています。愛媛大学でも，「愛媛大 変わる。」のキャッチフレーズのもと，社会が必要とする人材の育成を目指し，新学部の設置と 3 学部の組織改編を行う予定です。農学部においても，従来からの 1 学科制を 3 学科制に改め、食料、生命、環境に関する諸問題の解決に取り組む体制を構築します。愛媛大学としては，今回の教育組織改革を切り札に，「地域とともに輝く大学」を目指して，地域中核機能を一層強化していきたいと考えています。

今後とも，愛媛大学大学院連合農学研究科は，30 周年をひとつの節目として，本研究科に寄せられる期待を重く受け止め，これまでの歴史と伝統を受け継ぎながら，構成大学が連携協力し，地域の発展に貢献するとともに，グローバル化時代の中，各国の将来を担う研究者の育成を目指してまいります。

最後に、本日ご臨席賜りましたご来賓の方をはじめ，ご列席の皆様方に重ねて感謝申し上げますとともに，引き続き，ご理解とご支援を賜りますようお願いいたしまして，私からの式辞とさせていただきます。

本日は，誠にありがとうございます。